県民の友 5月号

No.645

（平成４年／1992年）

発行 和歌山県知事公室 広報公聴課
〒640 和歌山市小松原通1－1
☎0734(32)4111

5月のこよみ
- 児童福祉週間　5日～11日
- 愛鳥週間　10日～16日
- 看護の日　12日

生涯学習による町づくりを進めている貴志川町の大正琴教室。「いつまでも若い気持ちでいられるように」という80歳のおばあちゃんや、「みんなでワイワイするのが楽しくて」という中年女性など、参加の理由はさまざまのようです。

和歌山市の県体力開発センターで開かれている水泳教室。13年前から参加しているという北野和恵さん(48)。「始めた頃は25㍍がやっと。今では水泳と縁のない生活は考えられなくなりました。マイペースで無理をしなかったのがよかったようです」。

「今日から何かをはじめよう」

人生八十年といわれる現在、皆さんはゆとりの時間をどうお過ごしですか。

最近実施した県政世論調査の結果をみても、より充実した生活を求めて、一生を通じて何かを学ぼうという「生涯学習」に対する県民の皆さんの関心が非常に高まっていることがわかります。

一般に学習というと何か難しいものを連想して、つい構えがち。

生涯学習は知識中心の「勉強」だけでなく、音楽や美術、スポーツ、ボランティア、地域づくり活動など心や体の学習も全て含んだ幅広いものです。

〝生きがいを学ぶ〟のが生涯学習。あなたも今から何かはじめてみませんか。

ご存知ですか、学習情報提供システム

芸術や文化、スポーツなどの講座や学習会はどこで開かれているんだろう。何か適当な教材はないかしらといったさまざまな学習相談に、県学習情報提供センター（県教育庁社会教育課内）と市町村を結ぶコンピューターを使ってお答えするものです。

各市町村の教育委員会や公民館などで一度お問い合わせください。

現在提供している情報は①講演会の講師や実技指導者、②文化会館や体育館等の施設案内、③講座や催し物などのイベント情報、④学習教材となるビデオやフィルムに関する情報。

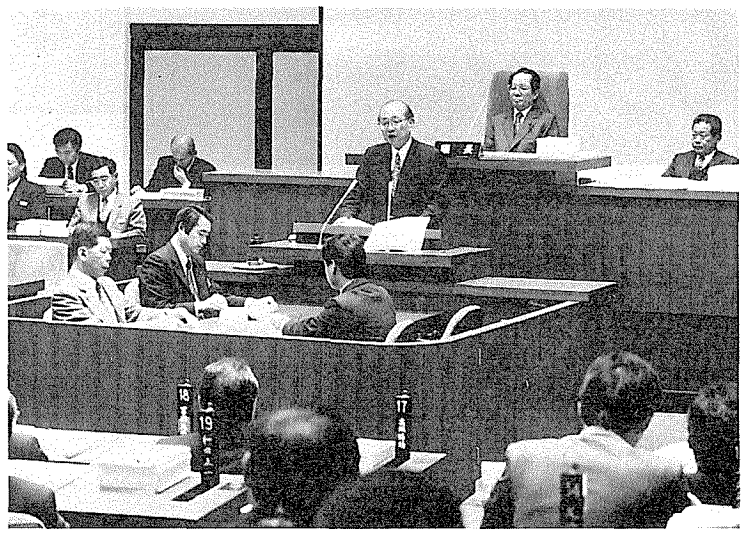
くわしくは県教育庁社会教育課へ。

一人一趣味（ひとりひとしゅみ）運動を進めている美里町では町の人口５千人のうち約１割にあたる５百人が何らかの趣味のグループに参加。真国水墨画グループの代表・下絵図順子さん(40)は「一色で色々なものを表現するのでとても奥が深い。水墨画をはじめて道端の花もやさしい気持ちでながめるようになりました」と話しています。

海南市の亀川公民館で毎週行われている英会話教室。有田四郎さん(70)は「英語には以前から接していましたが、会話をもっと勉強したくて……。これから海南にも外国の方が多くこられると思うので道案内でもできれば、と思って楽しんでやっています」。

県議会だより　二月定例会より

平成四年度当初予算を可決、総額五千八百五十六億八千二百余万円



二月定例会は、二月二十八日から三月二十四日まで二十六日間にわたって開かれ、平成四年度一般会計四千七百六十五億三千六百余万円、特別会計八百六億六千百余万円、企業会計二百八十四億八千四百余万円の当初予算議案など八十三議案を原案のとおり可決。また、追加提案された副知事と出納長の任期満了に伴う人事案件については、副知事に西口勇氏、出納長に梅田善彦氏を選任することに同意されました。また、継続審査となっていた平成二年度歳入歳出決算についても認定されました。

このほか、「衆議院議員の現行定数堅持に関する意見書」及び「学校週五日制の実施に関する意見書」が可決され、関係機関に送付されました。

本会議では、十九人の議員が質問に立ち、県政をめぐる各般の問題について活発な論議が交わされました。

以下に、その中のいくつか要約したものを掲げてみました。

平成四年度予算についての特質は何か伺いたい。

関西国際空港の開港、リゾート博の開催を控え、今、和歌山は飛躍発展する絶好の機会だと思っている。そうした中で、今日まで築いてきた成果を土台にして、さらに飛躍、発展を図るため、また伸びゆく県土づくり等五つの公約実現を図るため、きめ細かな予算づくりに努めた。

一方で、厳しい財政事情の中ではあるが、歳出の節減を図り、合理化にも留意した。また特に、本年度から初めての試みとして県民生活環境整備のための特別枠を設定し、下水道や公園等の生活関連社会資本の計画的な整備を図った。

この結果、平成四年度予算は、義務的経費を圧縮し、政策的経費とりわけ投資的経費に重点を置いた積極的な予算を計上した。

新しく建設される県立図書館の特色及び特徴について伺いたい。

新しい図書館は、本県の「中核図書館」として、また、「郷土文献資料センター」として位置づけ、蔵書の充実を最重点事項として取り組んでいる。新館建設を契機に新たな分野として、「木の国・和歌山」の理解をより深くするために、「木の文化」に関するあらゆる資料を積極的に収集している。その他利用者への迅速で、的確なサービスと図書館業務の円滑化を図るためにコンピューターを導入する。さらに、併設の文化情報センターには、視聴覚ライブラリーも取り入れ、県民の生涯学習の場として活用できるよう全国的にもユニークな施設にしている。

オープン後は、県内公共図書館とのネットワーク化に取り組むとともに、将来国立国会図書館をはじめ、全国の主要な公共図書館とのネットワーク化を目指していきたい。

深刻化する看護婦不足問題に対する県の対応はどうか。

看護職員の確保は重要な課題と認識している。養成力の強化として県立高等看護学院の定数増をはじめ、病院協会立の看護専門学校の設立支援、南紀高校専攻科の定数増、各養成所に対して定員の一割増の生徒受入要請を行って来たが、今後紀南地方の看護婦養成所を平成七年に、県立医科大学の整備に伴う看護短期大学を平成八年に設置することを目途に計画検討を行っている。

ひき続き、既設の養成所についても定数増が図れるよう関係機関へ要請を行うとともに、修学費の軽減やナースセンターを設置し、看護職員の確保を進めていきたい。

暴力団対策法の施行に当たって県警察の決意と体制について伺いたい。

本年三月一日いわゆる暴力団対策法が施行され、法を円滑に施行するため、昨年七月暴力団対策法施行準備室を設置。また、法施行後における暴力団対策を強力に推進するため、去る三月一日、「和歌山県警察暴力団取締特別対策本部」を設置した。県警察としては、暴力団対策を最重点課題として暴力団対策法の施行を機に暴力団を壊滅し、暴力団による被害から県民を守るため全力をつくしたい。

第二国土軸構想実現に向けての取り組み方について伺いたい。

第二国土軸構想については、一昨年の十月に十七府県二十五団体による第二国土軸促進協議会が和歌山で発足。また、関係の国会議員による議員連盟も結成されるなど最近とみに関心が高まりつつある。

二十一世紀に向けて、この第二国土軸を推進し、和歌山県を国土軸の中に位置づけることは長年の悲願であり、日本としてもこれからの多極分散型国土を形成する上で、たいへん重要である。

大阪湾ベイエリア開発の動きも活発化し、紀淡海峡の問題が大きなウエイトを持ってくる重要な段階にあるため、関係機関と一体となって紀淡海峡トンネル（橋）を含む第二国土軸の推進に全力をつくしていきたい。

同和対策について国の地域改善対策協議会の意見具申の中で、今後も法的措置を含めた適切な措置、実態調査、審議機関の設置が必要とされているが知事の考えを伺いたい。

同和問題解決のため、法的措置を含めた適切な措置、実態調査、審議機関の設置は重要な三本柱であると考えている。

今後の取り組みについては、現在国会において法改正が審議されており、実態調査の実施や審議機関の設置などについて今後とも積極的に努力していきたい。

林野二法改正に伴う今日までの林業活性化対策について伺いたい。

林野二法の改正に基づき今日まで取り組んできた具体的な施策については、新しく策定した森林計画に基づき国有林を含めた広域流域の中で、造林、間伐、林道等の森林整備を推進している。現在、計画区の一つに流域林業活性化センターを設置し、これらを活用して、森林施業の合理化、木材流通加工体系の整備、林業労働力の広域流動化等に取り組んでいる。また、法改正の中で市町村の役割強化が図られ、現在、森林施業の協同化、機械化、担い手の育成等を内容とした、森林整備計画の策定を進めている。

世界リゾート博推進局を設置

県勢活性化のための各プロジェクトを強力に推進するため、また、重要施策をより効率的に進めることができるようにと、県では四月一日から組織の一部改革を行いました。

- 平成六年夏に開催される世界リゾート博に向け、庁内に世界リゾート博推進局を設置
- 和歌山市加太の関西国際空港土砂採取跡地に、周辺と調和のとれた新しい街づくりをすすめるため、コスモパーク加太推進室を新設
- 公共用地取得の強化を図るため監理課内に用地対策室を設置
- 和歌山操車場跡地の利用計画を推進するため、企画室に複合施設計画班を設置

その他、地籍調査事業をより一層すすめるため、土地対策課に地籍調査班を設け、また総合的な長寿社会づくりをめざして、老人福祉課を高齢社会政策課に改称するとともに新たに長寿社会対策班を設けました。

新しい同和運動啓発ポスター・作文決まる

県民一人ひとりに同和運動の輪を広げ、同和問題について正しい理解と認識を高めてもらおうと、毎年、県内の児童や生徒をはじめとした皆さんから啓発ポスターと作文を募集していますが、このたび、新しい入選作品が決まりました。

ポスター部門では、応募総数一六、九五五点の中から優秀作五四点と、最優秀作として海南市立海南第一中学校２年の木下美和さんの作品（写真）が選ばれました。木下さんの作品は十一月の同和運動推進月間に啓発ポスターなどとして使用されます。

作文部門では三五、六八五点の応募のなかから二二点が入選作品に選ばれました。入選作文は「県民の友」やラジオ広報番組「県民マイク」（和歌山放送）で随時発表する予定です。また作文集も発刊します。

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～土曜日
場所…県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所　毎月第１、３月曜日　受付…午後１時～２時　●東牟婁県事務所　毎月第１、３金曜日　受付…正午まで
〔巡回相談〕●西牟婁県事務所　５月19日　●伊都県事務所　５月27日　●日高県事務所　６月２日　受付…午後３時まで

県民相談

〔常設相談〕月～土曜日
場所…県庁県民相談室、各県事務所
〔弁護士による法律相談〕毎月第２、４金曜日
受付…午前９時～11時　場所…県庁県民相談室
〔移動相談〕●桃山町役場会議室　５月20日　●野上町中央公民館　５月21日　●本宮町山村開発センター　６月１日
いずれも午後１時～４時

おしらせ

県庁・県教育庁は　〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32－4111

募集

第25回県民文化祭のテーマ

文化の香り高い郷土づくりをめざして開催される県民文化祭。今年も皆さんからテーマを募集します。

字数　15字以内

応募方法　ハガキにテーマ1点と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、5月30日までに県庁文化振興課へ

※昨年のテーマは「〝文化〟知的に好奇心」でした。

くわしくは応募先へ

県営住宅入居補欠者

千旦（2DK・3DK）21戸
千旦第二（3DK）11戸
栄谷（3DK）13戸
延時（3DK）2戸
西脇グリーン（3DK・4DK）32戸
和歌山東（3DK）5戸
三葛（3DK）3戸
東松江（3DK・3LDK）6戸
野上（3DK）2戸
楠見（3LDK）2戸
聴覚障害者向け　栄谷（3DK）1戸

用紙配布　5月6日～6月9日　県庁正面玄関案内所、県庁住宅課、各土木事務所（和歌山土木事務所民生課、各市町村役場へ

体力開発センター（サン・ウイング）初級スポーツ教室

期間　7月7日～9月22日

場所　体力開発センター

申込　①＝往復ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢、生年月日、学年、保護者名㊞、電話番号を記入し、5月30日（必着）までに〒640和歌山市中之島22　52県体力開発センター「初級スポーツ教室係」へ

②＝6月7日午前9時から県体力開発センターで先着順で受付。

受講料、印鑑をご持参ください。

区分	対象	教室名	曜日	時間	定員(人)	受講料
①	幼児児童	3歳　児体操教室	金	14:00～15:00	20	5,130円
		4～6歳児　〃	火	15:00～16:00	各25	
		小1～2年　〃	月	16:00～17:00		
		小3～6年　〃	火	16:00～17:00		
②	成人女性	ヘルスアップ　朝	月	10:00～11:30	各25	5,130円
			火	10:00～11:30		
			木	10:00～11:30		
			金	10:00～11:30		
		ヘルスアップ　昼	火	13:30～15:00		
			金	13:30～15:00		
		ヘルスアップ　夜	火	18:30～20:00		2,810円
		ヘルスアップシルバー	月	14:00～15:30	30	5,130円
		リズムダンス	土	10:00～11:30	各25	
			金	18:30～20:00		2,810円
		レディースウエイト	月	18:30～20:00	20	
		レディーススイミング	金	10:00～11:00	50	7,190円
	成人男性	ヘルスアップ	月	18:30～20:00	各20	4,250円
			火	18:30～20:00		
		ヘルスアップシルバー	木	14:00～15:30		
		メンズウエイト	金	18:30～20:00		
	成人（男女）	アスレティック&スイム	木	18:30～20:00	25	男 4,250円 女 2,810円
		ナイトスイミング	土	19:30～20:30	30	7,190円

くわしくは申込先☎(0734)31－7173へ

ごあんない

文化的ふるさと環境整備補助金

対象　和歌山の誇る文化資源（伝統文化、史跡、名勝など）に関する施設等の整備や郷土文化を新しく開拓、創出しようとがんばっているグループ（地方公共団体を除く）の事業

補助額　補助対象経費の二分の一以内（補助限度額　250万円）

申込方法　6月20日までに事業計画書を各市町村役場へ

くわしくは申込先、県庁文化振興課、各県事務所総務課へ

アウトドアー・レクワーカー（野外活動指導者）講習会

日時　6月5日～7日二泊三日

場所　県立紀北青年の家（かつらぎ町）

対象　野外活動に関心のある方

定員　50人（先着順・有料）

申込　5月27日までに直接電話で県立紀北青年の家☎(0736)22－5530へ

くわしくは申込先へ

紀州ふるさと運動補助金

対象　自信と誇りをもって住めるふるさとをつくろうとがんばっているグループ（地方公共団体を除く）のイベント等の事業

補助額　補助対象経費の二分の一または三分の一以内（補助限度額100万円）

申込方法　6月20日までに事業計画書を各市町村役場へ

くわしくは申込先、県庁文化振興課、各県事務所総務課へ

紀の川水防エキジビション

5月は水防月間です。水防活動の大切さを知っていただくため、記念イベントを行います。

日時　5月16日(土)午後1時～

場所　橋本市民会館

内容　記念講演（板東英二氏）水防工法模型展示、水防クイズ、ぬいぐるみ人形劇などの各種イベント（参加無料）

住宅を分譲します

長山団地（貴志川町長山）

戸数　16戸

土地面積　159・81㎡～242・32㎡

譲渡予定価格　3、987万2千円～6、588万4千円

栄町団地（粉河町粉河）

戸数　5戸

土地面積　166・58㎡～172・82㎡

譲渡予定価格　3、822万2千円～4、174万4千円

くわしくは県住宅供給公社☎(0734)25－6885へ

戦没者等の遺族の皆さんへ

昭和60年4月1日から平成元年3月31日までの間に、公務扶助料、遺族年金等の受給権者が遺族内にいなくなった方で、一定の要件を満たす方に特別弔慰金（額面18万円の国債）が支給されています。6月27日までに請求手続きを行ってください。

くわしくは県庁厚生援護課、各県事務所民生課、各市町村役場へ

自動車税、自動車取得税の減免制度

喉頭摘出による音声機能障害（3級）の方が運転する自動車について、自動車税、自動車取得税の減免ができるようになりました。

くわしくは和歌山県税事務所、各県事務所税務課へ

試験

県職員採用Ⅰ種試験

日時　6月28日

場所　星林高校（和歌山市）田辺高校（田辺市）

試験区分　一般行政、土木、建築、農学、農業工学、林学、水産、学校事務、警察事務、獣医師、薬剤師、社会福祉、国際専門推進員、※各区分の採用予定人員は、試験案内で確認してください。

受験資格　昭和38年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた方。農学職は農業改良普及員の資格取得者か平成5年3月31日までに取得見込みの方、獣医師・薬剤師は各免許取得者か来春実施の国家試験により取得見込みの方に限る。

点字受験　一般行政職については、点字での受験が可能です。

申込書配布　県人事委員会事務局、各県事務所総務課、串本土木事務所、各警察署等

受付　5月18日～6月1日まで県人事委員会事務局

くわしくは受付先へ

毒物劇物取扱者試験

試験区分　一般・農業用品目

試験日　8月7日

場所　県立和歌山商業高校、西牟婁総合庁舎

願書受付　6月1日～12日（消印有効）までに県庁薬務課、各県立保健所へ

くわしくは受付先へ

製菓衛生師試験

日時　6月26日

場所　県民文化会館

受験料　7、700円

願書受付　5月18日～29日までに住所地を管轄する保健所（県外在住者は県庁生活衛生課）へ

くわしくは受付先へ

理容師・美容師実地試験

日時　美容師＝6月8日、理容師＝6月15日　各午前9時～

場所　県民文化会館

受験料　理容師、美容師各9、000円

申込　5月18日～22日までに願書を〒640和歌山市卜半町33　環衛食肉会館3階　㈶理容師、美容師試験センター和歌山県支部へ

用紙配布などくわしくは申込先☎(0734)33－3844へ

融資など

公害防止施設整備資金

県内に工場、事業所をお持ちの中小企業者で、ばい煙処理装置、排水処理装置などの公害防止施設または産業廃棄物処理施設の整備が必要な方に資金を融資します。

融資額　施設整備に必要な資金の90％以内、原則3、000万円以内

利率　3・5％

返済期間　7年の元金均等月賦償還（うち1年据置）

申込などくわしくは県庁環境調整課または最寄りの県の保健所へ

考えよう　知ろう　語ろう　北方領土

催し

県民文化会館　☎(0734)36-1331

三代目渋谷天外襲名披露　新生松竹新喜劇
6月15日　午後12時30分～／午後5時～　大ホール
1等＝5,000円　2等＝4,000円　（全席指定）

紀南文化会館　☎(0739)25-3033

日本民族舞踊団　5月19日　午後7時～　大ホール　3,000円

移動近代美術館　5月20日～31日　無料

県立近代美術館　☎(0734)36-1331

館蔵作品展Ⅱ　5月1日～24日　無料

植物公園緑花センター　☎(0736)62-4029

春の盆栽展　5月15日～17日
花と緑の切手展　5月23日、24日
園芸教室「フラワーボールの作り方」　5月17日
「グリーンインテリアを楽しもう」　6月7日
薬草教室「薬草の知識と利用」　5月24日

電波で結ぶあなたと県政

テレビ（テレビ和歌山）

きのくに'92　金曜日　午後10時～
ホットライン県政　（再）　日曜日　午前11時～
県政フラッシュ　金曜日　午後6時15分～
県民チャンネル　月～土　午後8時55分～
はばたく紀の国　土曜日　午後6時～

ラジオ（和歌山放送）

県民マイク　土曜日　午後2時30分～
県庁だより　月～日　午前11時40分～
（再）月～金　午後5時40分～
（再）土・日　午後6時～

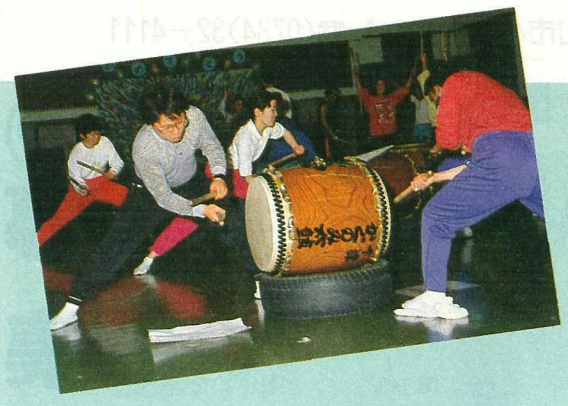
文字放送（テレモ西日本511＃）

紀の国・和歌山情報　毎日午前6時～深夜0時

平成4年度の自動車税の納期限は6月1日です。

納税はお早めにお近くの金融機関（郵便局は除く）へ口座振替制度もご利用ください。また、車検時には納税証明書が必要ですので、車検証とともに保管してください。

くわしくは和歌山県税事務所、各県事務所税務課へ



かぐのみ太鼓は勇ましく

「ドン・ドーン……」

夜の体育館に響く勇ましい太鼓の音。下津町では、自分たちで何か新しい文化をつくって、ふるさとをPRしていこうと和太鼓集団「かぐのみ太鼓」が結成されました。

会社員や公務員、主婦など二十二名のメンバー全員、太鼓は初体験。古タイヤなどをたたいて始めた練習も、最近本格的な和太鼓を購入し、いよいよ熱気を帯びてきました。

「かぐのみ」というのは、みかんの古称で、香りのよい果実のこと。

かぐのみ太鼓でみかんと文化の香りを伝えようというメンバーの初公演は八月のふるさとまつりの予定です。

（下津町）

オーケストラがやって来た

春の山合いにシンフォニーが響きわたります。

以前にもこのコーナーでご紹介した「中津村ふれあいドーム」がこのたび完成。3月28日、こけらおとしとして、兵庫交響楽団を招きコンサートが開催されました。

コンサートは、中津村村民歌オーケストラ版から始まり、ヨハン・シュトラウス、ブラームスなど名曲が続きます。集まった約800人のみなさんは、なかなか聴けない生のオーケストラの響きをじっくりと味わいました。

ドームは、このようなコンサートのほか、特産のほろほろ鳥のバーベキューが味わえるレストランとしても利用される予定です。

（中津村）

わかやま北南NEWS

紀州相撲のメッカに

盛り上がる大相撲ブーム。栃乃和歌関、久島海関、和歌乃山関、大輝煌関など、和歌山県出身力士も頑張っています。

このたび、和歌乃山関、大輝煌関の出身地・御坊市に相撲場がつくられ話題を呼んでいます。

建設にあたって市の担当者は、県営相撲場を何度も見学したり、土俵の俵づくりは清水町に住む専門家に依頼、わらは東京から取り寄せるなど苦心を重ねた様子です。

子供による「わんぱく相撲大会」の開催も近く予定されています。未来の横綱がこの相撲場から生まれるよう、期待したいですね。　（御坊市）

僕らの家であそぼう

新宮市の浮島児童館にとんがり屋根のかわいい木工ハウスができあがりました。

「思いっきり遊べる僕らの家が欲しい」という子供たちの声がきっかけで、二年前から毎週一回の木工教室の時間を利用して作業を続けてきたものです。

指導にあたった市職員・玉置庸祐さんは「大人と子供が一体となってやっと完成しました。家というより子供たちにとっては大きなおもちゃ、のびのびと使ってほしい」と話しています。いろりや床の間もあるこの家は希望いっぱいの子供たちを象徴するように「青い太陽」と名づけられました。

（新宮市）

太地町灯明崎に復元された鯨山見

よみがえった鯨山見

日本の古式捕鯨発祥の地・太地町に、このほど江戸～明治の時代にかけて使われた「山見（やまみ）」が復元されました。

山見は当時、熊野灘をおよぐ鯨をみつけたり、のろしや旗で捕鯨船団の指揮をとったりした見張り台です。

「くじらの町の文化遺産を後世に残そう」とふるさと創生事業を活用して建設されたこの山見台、隣りには展望台を兼ねた「旗ふり台」も整備され、眼下に広がる太平洋が一望できます。

同町では今後、かつて鯨油を燃やして灯りを放った燈明灯台の再建も計画中とのことです。

（太地町）

ふるさと百知識 シリーズ73

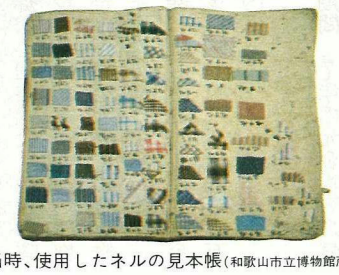
紀州ネルの先駆者 宮本政右衛門・土橋房之助

明治後半から勢いを見せ始めた和歌山県の綿ネル業は、大正に入り最盛期を迎えた。それは、新しい織物「紀州ネル」と、色鮮やかな染色法「捺染（なつせん）」の技術開発に取り組んだ二人の人物がもたらした結果だった。

宮本政右衛門、文政十三年（一八三〇年）和歌山市生まれ。洋服仕立職を営んでいたころ、和歌山藩の丘制改革に必要なドイツ式軍服の仕立てを請け負った。藩が指定した生地は、軍服に使うには少々固すぎた。政右衛門は縦横の糸の組み合わせに工夫をこらし、柔らかく暖かい、丈夫な生地を作り上げた。新しい生地は「紀州ネル」と呼ばれ、全国に広まっていく。

紀州ネルの成功により、県内には綿ネル業者が増えはじめた。明治十八年、紡績工業の将来の発展のため染色講習所が開設され、第一期生として土橋房之助（慶応三年、御坊市生まれ）が入所する。その頃イタリアからネルが輸入された。その鮮やかな色合いを見た房之助は、これに対抗できるものを作ってみようと決心、ローラー式捺染術を日本で初めて考案し、捺染ネルの国産化に成功した。

彼ら二人の技術は、紡績から染色までを一貫して大量生産する綿ネル会社で活用され、和歌山県の綿ネルは全国生産高の首位を占めた。



当時、使用したネルの見本帳（和歌山市立博物館蔵）

あとがき

先日、近くの山でタラの芽を摘み、さっそく酢味噌（すみそ）あえにして春を味わいました。

タラ摘みは、あの鋭いトゲに悪戦苦闘するのが、自然に対する礼儀だと思います。幹の途中でバッサリ切られているのが目立ち、とても悲しい気持ちになりました。

五月、新緑の季節。山菜摘みやハイキングにと、野山に出かける絶好の季節です。せめて子供たちにゴミの山や、悲しい人間が作り出した光景だけは見せたくないものです。